

令和2年度 第4回

鶴岡市国民健康保険運営協議会

日 時 : 令和3年1月25日(月) 午後1時~

場 所 : 鶴岡市役所議会棟 委員会室

鶴岡市国民健康保険運営協議会委員名簿

(令和元11月15日現在)

区 分	氏 名	就任年月日	備 考
被保険者代表	小 池 賢	H29. 11. 15~	鶴岡市農業協同組合
	齋 藤 源之助	R元. 11. 15~	庄内たがわ農業協同組合
	佐 藤 清八郎	R元. 11. 15~	山形県漁業協同組合
	齋 藤 邦 夫	H25. 11. 15~	鶴岡商工会議所
	佐 藤 満 也	R元. 11. 15~	出羽商工会
保険医・保険 薬剤師代表	福 原 富 子	H21. 11. 15~	鶴岡地区医師会
	佐久間 正 幸	H21. 11. 15~	鶴岡地区医師会
	三 原 一 郎	R元. 11. 15~	鶴岡地区医師会
	迎 田 健	H27. 11. 15~	鶴岡地区歯科医師会
	鳥 海 良 明	R元. 11. 15~	鶴岡地区薬剤師会
公益代表	坂 本 昌 栄	R元. 11. 15~	鶴岡市議会
	田 中 宏	H29. 11. 15~	鶴岡市議会
	秋 葉 雄	R元. 11. 15~	鶴岡市議会
	阿 部 寛	R元. 11. 15~	鶴岡市議会
	五十嵐 一 彦	R元. 11. 15~	鶴岡市議会
被用者保険等 保険者代表	鈴 木 修	H24. 8. 7~	きらやか健康保険組合 (常務理事)
摘 要	任 期	令和元年11月15日 から 令和4年11月14日 まで	

(市)

職 名	氏 名
副市長	山 口 朗
健康福祉部長	渡 邊 健
課税課長	中 村 勝 行
納税課長	五十嵐 英 晃
健康福祉部参事兼健康課長	伊 原 千佳子
藤島庁舎市民福祉課長	長谷川 郁 子
羽黒庁舎市民福祉課長	佐 藤 美 香
榎引庁舎市民福祉課長	前 田 郷 子
朝日庁舎市民福祉課長	成 澤 真 紀
温海庁舎市民福祉課長	武 田 綾 子
(事務局)	
国保年金課長	佐 藤 玲 子
国保年金課課長補佐	菅 原 美 樹
国保年金課国保医療主査	山 口 幸
国保年金課国保医療係主事	難 波 拓 実
国保年金課国保医療係主事	渡 部 健 太

## 会 議 次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 会議録署名委員の指名

4. 報 告

(1) 令和3年度国保事業費納付金及び標準保険料率について ……P1

5. 協 議

(1) 令和3年度鶴岡市国民健康保険税について ……P2～3

(2) その他

6. その他

7. 閉 会

4. 報 告

(1) 令和3年度国保事業費納付金及び標準保険料率について

\* 国保事業費納付金額

	医療分(円)	支援金分(円)	介護分(円)	合計(円)
令和3年度	2,062,477,136	781,665,988	281,231,346	3,125,374,470
令和2年度	2,285,145,208	777,295,785	299,096,379	3,361,537,372
比 較	▲ 222,668,072	4,370,203	▲ 17,865,033	▲ 236,162,902

※令和2年度医療分には、財政安定化基金再積立分115,516,000円が含まれています。

\* 標準保険料率

医療分		所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)
	令和3年度	6.37	26,271	18,875
令和2年度	6.97	28,878	20,676	
比 較	▲ 0.60	▲ 2,607	▲ 1,801	
※本市税率	7.90	25,200	20,400	

支援金分		所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)
	令和3年度	2.54	10,263	7,374
令和2年度	2.51	10,225	7,321	
比 較	0.03	38	53	
※本市税率	2.80	8,400	7,200	

介護分		所得割(%)	均等割(円)	平等割(円)
	令和3年度	2.23	11,208	5,737
令和2年度	2.28	11,698	5,875	
比 較	▲ 0.05	▲ 490	▲ 138	
※本市税率	2.50	10,800	6,000	

鶴岡市国民健康保険の財政見通し

(単位：千円)

5. 協議

(1) 令和3年度鶴岡市国民健康保険税について

令和3年度国民健康保険税の改定の考え方(案)

平成30年度に国保運営が県と市町村との共同運営となってから3年目を迎え、令和2年度が中間見直しの年に当たることから、現在の財政状況や国保事業費納付金の動向を踏まえ、以下の点を整理し、試算を行った。

① 財政見通しの期間について

前回改定時の際、山形県の「国保運営方針」の期間に合わせて平成30年度から令和5年度までの6年間を見通したところであり、今回も見直し期間を6年間に設定し、令和8年度までの財政を見通す。ただし、新型コロナウイルス感染症による影響で見通せない点があること、令和6年度以降は「国保運営方針」の見直しが想定されることから、令和5年度中に見直しを行うこととする。

② 国保事業運営基金について

平成29年度第3回国保運営協議会(平成29年12月26日開催)において、国保運営が順調に推移した場合は、必要以上に基金を確保する必要はなくなることから、国保事業運営基金は、収収が激減した場合等に備え、「国保事業費納付金のおよそ1割」の規模となる「約3億円」の水準を確保することとした。

しかしながら、令和元年度の国保事業費納付金は前年比4億6千万円の増(+14.7%)となり、今後も国県の示す推計値により大きく増減する可能性がある。

県内他市町村の基金の保有水準は本市より高い状況にあることを踏まえ、将来的にも「国保事業費納付金のおよそ2割」の水準を確保することとしたい。

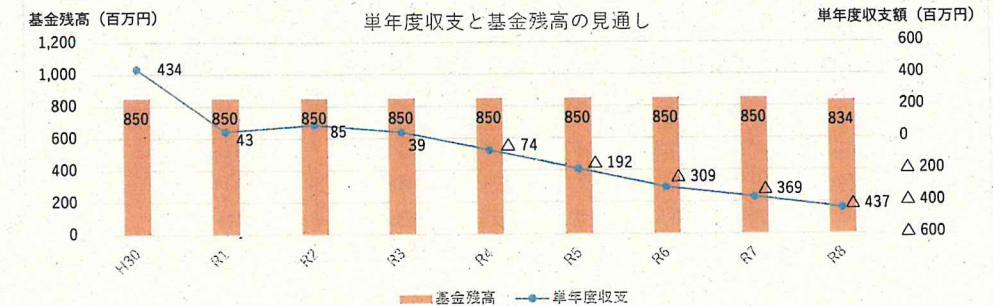
③ 税の改定について

今後単年度収支の赤字が想定されるため、当面は繰越金を活用することとし現行税率を継続する。

歳入	(決算額)			(推計額)					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国保税	2,826,586	2,747,251	2,767,135	2,465,489	2,357,007	2,253,299	2,154,154	2,059,371	1,968,759
国県支出金	8,669,606	8,714,004	8,874,045	9,068,421	9,053,773	8,993,913	8,858,290	8,683,664	8,553,349
一般会計繰入金	875,838	849,645	867,580	828,099	819,170	808,501	797,436	788,558	780,081
基金繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	16,584
前年度繰越金	763,420	1,197,792	1,240,445	1,325,471	1,364,700	1,290,723	1,098,635	789,161	420,638
その他収入	72,814	55,479	40,895	40,180	41,079	41,079	38,528	38,528	38,528
歳入計	13,208,264	13,564,171	13,790,100	13,727,660	13,635,729	13,387,515	12,947,043	12,359,282	11,777,939

歳出	(決算額)			(推計額)					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事務費	83,463	85,534	111,716	85,601	80,774	80,774	80,774	80,774	80,774
保険給付費	8,436,065	8,435,252	8,700,900	8,936,039	8,921,429	8,863,400	8,759,217	8,586,244	8,457,498
国保事業費納付金	3,110,595	3,569,206	3,361,539	3,125,376	3,126,859	3,128,762	3,101,947	3,055,692	3,023,733
共同事業拠出金	2	3	3	10	10	10	10	0	0
保健事業費	179,940	179,366	179,366	179,366	179,366	179,366	179,366	179,366	179,366
基金積立金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他支出	200,407	54,365	111,105	36,568	36,568	36,568	36,568	36,568	36,568
歳出計	12,010,472	12,323,726	12,464,629	12,362,960	12,345,006	12,288,880	12,157,882	11,938,644	11,777,939

収支等	(決算額)			(推計額)					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
形式収支	1,197,792	1,240,445	1,325,471	1,364,700	1,290,723	1,098,635	789,161	420,638	0
単年度収支	434,372	42,653	85,026	39,229	73,977	192,088	309,474	368,523	437,222
年度末基金残高	850,447	850,447	850,447	850,447	850,447	850,447	850,447	850,447	833,863



○主要項目の見通し

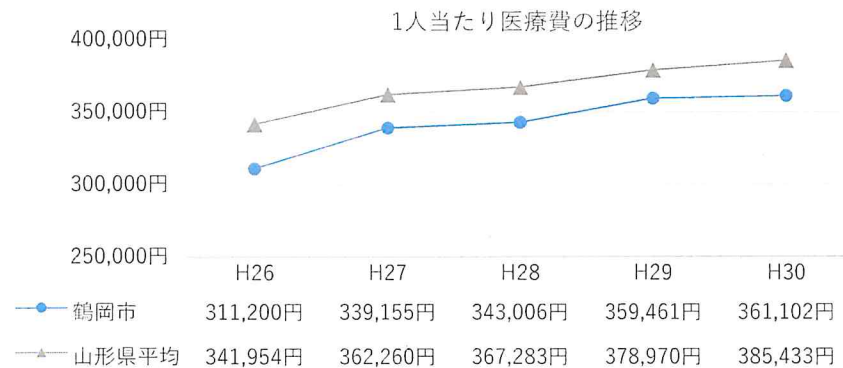
- 国保税：対前年度伸び率△4.4% (参考：税率改正をした年度を除く直近3か年平均△4.4%)
- 国保事業費納付金：一人当たり納付金額+4.0% (参考：一人当たり保険給付費の対前年度伸び率 直近3か年平均+3.4%)



# 医療費の動向と保険者努力支援制度

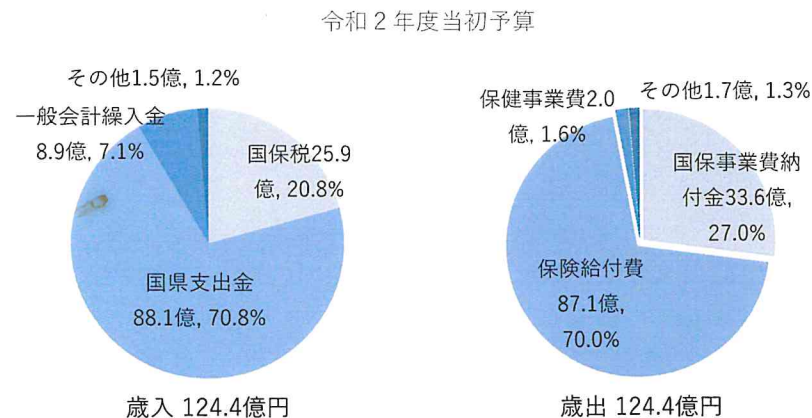
## 1. 医療費の動向

本市被保険者の一人当たり医療費は年々増加している。被保険者の高齢化や医療の高度化により、今後もこの傾向は続くと思われる。



- ・ 鶴岡市の平成30年度一人当たり医療費は、県内32保険者中24位。（県内9番目に低い）
- ・ 山形県全体は全国平均並み（年齢調整後の地域差指数による比較）

## 2. 国保会計の状況



- ・ 保険給付費のほぼ全額が県支出金により交付される。
- ・ 国保税や一般会計繰入金（保険料軽減分）等の歳入により国保事業費納付金を支払う。

## 3. 国保財政への影響

### (1) 国保事業費納付金

納付金には医療費指数（※）が反映されており、医療費が低い市町村の負担は低く、高い市町村の負担は高くなっている。

本市は県内でも低い水準にあるため、医療費指数を納付金に反映させない試算と比較すると、本市の納付金は約2億円低くなっている。

※ 医療費指数：全国平均の医療費を1とした場合の当該市町村の医療費水準

#### 【参考】

国は都道府県単位で「将来的には保険税水準の統一を目指す」方針を示しているが、市町村間で医療費水準や収納率等に格差があるため、「県と市町村との間で議論を進めていく」こととしている。将来的には市町村ごとの医療費指数は反映されなくなる可能性がある。

### (2) 保険者努力支援制度

保険者の取組状況や実績により採点され、得点数と被保険者数に応じて都道府県分と市町村分が交付されるもの。

- ① 都道府県分  
都道府県へ交付され、市町村ごとに国保事業費納付金から減算。
- ② 市町村分  
市町村の国保会計へ交付。

○交付実績

	H30	R1	R2
市町村分	59,582	61,462	68,308
都道府県分	43,535	55,994	70,482
計	103,117	117,456	138,790

(千円)

#### ○令和2年度一人当たり交付額（市町村分）

鶴岡市	2,499円（県内32保険者中11位）
山形県市町村平均	2,284円（全国1位）
全国都道府県平均	1,809円

# 保険者努力支援制度 評価指標

## 令和2年度保険者努力支援制度（市町村分）評価指標及び本市交付額

(交付額：千円)

1. 保険者共通の指標	
指標1. 特定健康診査・保健指導の受診率、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少率	3,784
指標2. 特定健診・特定保健指導に加えて他の健診実施や結果等に基づく受診勧奨等の取組の実施状況	3,122
指標3. 糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況	11,353
指標4. 広く加入者に対して行う予防・健康づくりの取組の実施状況	8,988
指標5. 加入者の適正受診・服薬を促す取組の実施状況	4,730
指標6. 後発医薬品の使用促進に関する取組の実施状況	12,299
2. 国保固有の指標	
指標1. 収納率向上に関する取組の実施状況	4,257
指標2. 医療費等の分析等に関する取組の実施状況	3,784
指標3. 給付の適正化に関する取組の実施状況	2,365
指標4. 地域包括ケアの推進に関する取組の実施状況	2,365
指標5. 第三者求償の取組の実施状況	3,406
指標6. 適正かつ健全な事業運営の実施状況	7,853
交付額	68,308

(補足) 指標毎の交付額について  
指標毎の得点数×被保険者数により算出した合計点数を基準として、国の予算の範囲内で交付され、指標毎の交付額が定められているわけではないため、ここでは参考として、交付額68,308千円を指標毎の得点数で按分した数値を指標毎の交付額としている。